

シンポジウム 4

「総合診療医のための臨床研究の TIPS by JUGLER」

(ライブ配信)

座長： 多胡 雅毅

佐賀大学医学部附属病院 総合診療部 准教授・副部長・副診療科長

趣旨：

総合診療の研究対象は、医学教育から臨床まで非常に幅広く、医学生から指導医、在宅医療から高度救急医療・集中治療、common から rare diseases、公衆衛生など、ありとあらゆるものが研究対象となりうる。一方で基礎研究や特定の疾患を研究対象とする臓器別専門領域と違い、総合診療領域では Common diseases を取り扱うためにその新規性が評価されにくく、また Outcome を明確にしにくいテーマもあるために研究の意義自体が誤解されることもある。また総合診療領域では、研究体制の確立された研究機関以外で勤務しているため、リサーチマインドはあるものの研究を実践しにくいと感じている臨床実践家も多い。日々実践しているフィールドでの臨床知を、臨床研究によってエビデンスとして示すことは、一医師として、一科学者としての責務である。また我が国の総合診療領域から現場で役立つ良質なエビデンスを多数積み重ねて行くことが、本領域の専門性の確立につながり、ひいては医療技術の向上につながる。

本シンポジウムは、大学での診療・教育実践をベースとした臨床研究の経験が豊富な JUGLER (Japan University General Medicine Leadership and Education Roundtable) が担当する。各メンバーは、診断戦略、診断エラー、医学教育、AI、医療安全、病院管理、公衆衛生、感染症、救急医学、老年医学、在宅医療、など多彩な領域で臨床研究を実践している。また科研費、学会や財団の研究助成を始めとした研究費獲得のノウハウも持ち合わせている。

セッションはディスカッション形式で進行し、メンバーが実際に手掛けている臨床研究の紹介、研究を完遂するコツ、論文執筆、英語スキル、研究費獲得などについて触れながら、リサーチマインドの涵養に必要な、メンタリング、コーチング、研究へのインセンティブ、研究者としてのキャリア形成、研究サポート体制について意見交換を行い、最終的に総合診療領域の臨床研究に必要な TIPS を提言としてまとめる目的とする。

我々の提言が、研究経験の浅い若手の病院総合診療医のリサーチマインドを刺激し、臨床研究の第一歩のきっかけとなれば幸いである。

パネリスト：

○志水太郎

獨協医科大学 総合診療医学

○佐々木陽典

東邦大学医療センター大森病院 総合診療・急病センター

○鋪野紀好

千葉大学医学部附属病院 総合診療科

○和足孝之

島根大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター

○高橋宏瑞

順天堂大学医学部 総合診療科